

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年4月27日～2017年5月3日)

平成 29 年(2017 年)5 月 5 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<p>政治</p> <p>シドゥウォ首相, 地方長官との定期会合に出席 カチンスキ「法と正義」(PiS) 党首, 内閣改造が不要であるとの見解を表明 ドゥダ大統領, 憲法記念日式典にて憲法改正に関する国民投票の実施に言及 ティーマンス欧州委員会筆頭副委員長, ポーランドの法の支配の問題に言及 ドゥダ大統領, メキシコ訪問 ロシア軍, 9月のザーパド演習後も一部兵力を残存の見通し 参謀総長, NATO・EU参謀総長会合に参加 アンサリ・インド副大統領, ポーランド訪問 欧州米陸軍工兵部, ポーランド中部に兵器庫を建設予定 国防大臣, ルーマニア訪問 第14次隊, 派遣前最終訓練開催 マクロン仏大統領候補によるポーランドに関する批判に対するポーランド政府反応 ヴァシチコフスキ外相, EU非公式外相会合出席 大統領, ポーランド軍のラトビア, ルーマニア派遣を署名 シドゥウォ首相, 特別欧州理事会出席 英国空軍機, 民間のSNSサイト上に飛行情報を反映される ヴァシチコフスキ外相, オーストラリア訪問 ポーランド艦船, ロシア海軍フリゲート艦マカロフに接近</p>								<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！ 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p>経済</p> <p>4月の物価上昇率 オンラインバンキングの普及 経済成長率予測 ポーランドは低賃金の博物館と見られたいはないーシドゥウォ首相インタビュー ウッチ工科大学のグラフェン製造技術が米・EU での特許獲得 英国・中国間の鉄道貨物路線が開通 電気自動車推進法の素案 EUにおける有害物質排出強化に反対</p>								
<p>大使館からのお知らせ</p> <p>長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 パスポートダウンロード申請書のご案内 大使館広報文化センター開館時間 文化行事・大使館関連行事</p>								
<p>ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm</p>								

政 治

内 政

シドゥウォ首相、地方長官との定期会合に出席【4月27日】

27日、シドゥウォ首相は、各県の地方長官との定期会合にて、地方長官が政府の代表としての規律及び忠誠心を持つことの重要性を指摘した上で、医療及び教育分野における改革等への支援を求めた。

カチンスキ「法と正義」(PiS)党首、内閣改造が不要であるとの見解を表明【4月27日】

27日、与党「法と正義」(PiS)のカチンスキ党首は、インターネット・ポータル wpolityce.pl のインタビューにて、内閣改造はメディアや野党からの圧力によって行われてはならず慎重に実施されるものである、現時点では内閣改造の必要性がないと考える旨述べた。

ドゥダ大統領、憲法記念日式典にて憲法改正に関する国民投票の実施に言及【5月3日】

3日、憲法記念日における記念式典にて、ドゥダ大統領は、1791年に制定された5月3日憲法の重

要性を指摘した上で、独立回復100周年を迎える来年に憲法改正に関する国民投票を実施したい、ポーランド国民は大統領及び上下両院等の役割を含む今後の政治体制につき意見を表明すべきである旨述べた。また同日、ドゥダ大統領は、公共テレビTVPにて、現行憲法を制定した人達は同憲法によって自らの社会的地位を確保しているとの認識を述べた。

ティーマース欧州委員会筆頭副委員長、ポーランドの法の支配の問題に言及【5月3日】

3日、ティーマース欧州委員会筆頭副委員長は、独週刊誌 Die Zeit にて、現在のポーランドでは法の支配が根本的な脅威に晒されている旨述べ、ポーランドに対しEU基本条約第7条(注:欧州委員会がポーランドに対し進めている法の支配メカニズムの第三段階に当たる予防・制裁メカニズム)の発動の可能性を排除しない姿勢を示した。また、当地メディアは、5月16日のEU総務委員会又は欧州問題担当大臣会合にてポーランドに対する法の支配メカニズムが議題となる可能性を報じている。

外交・安全保障

ドゥダ大統領、メキシコ訪問【4月23-25日】

23-25日、ドゥダ大統領は、メキシコを訪問し、ニエト・メキシコ大統領との会談を行った他、ポーランド・メキシコ・ビジネス・フォーラムへの出席等を行った。

ロシア軍、9月のザーパド演習後も一部兵力を残存の見通し【4月26日】

26日、タフカナ(tsahkna)・エストニア国防大臣はエストニア情報機関の情報として、ロシア軍は、9月のザーパド演習終了後、数千人の兵士と約4000両の貨物車両分の物資をベラルーシ国内に残存させる可能性が高い旨述べた。

参謀総長、NATO・EU参謀総長会合に参加【4月26日】

26日、参謀総長スワロフスキ中将は、ヴィースバーデンで開催された NATO・EU参謀総長会議に出席し、共通の脅威への対処、協力関係の強化、情報交換の新方策、軍と民間との協力要領等について意見交換を行った。

アンサリ・インド副大統領、ポーランド訪問【4月27日】

27日、アンサリ・インド副大統領はシドゥウォ首相に招待されポーランドを訪問し、ドゥダ大統領、シドゥウォ首相及びカルチェフスキ上院議長と会談し二国間関係及び経済関係について意見交換した他、シドゥウォ首相と共にポーランド・インド経済フォーラムに出席した。

欧州米陸軍工兵部、ポーランド中部に兵器庫を建設予定【4月27日】

27日、欧州米陸軍工兵部長ベーカー大佐はポーランド中部のポヴィツ(powidz)に兵器庫を2021年までに建設予定で、建設費用は約2億ドルを計上している旨述べた。

国防大臣、ルーマニア訪問【4月27日】

27日、マチェレヴィチ国防大臣は、ルーマニアを訪問し、リセム・ルーマニア国防大臣と二国間会談を行い、二国間協力、黒海・バルト海情勢、NATO 司令部の等の意見交換を行うと共に、ルーマニア国内の NATO 南東多国籍師団司令部を訪問した。

第14次隊、派遣前最終訓練開催【4月27日】

27日、ボスニアヘルツェゴビナ派遣第14次隊の最終準備訓練は、ポーランド南部のケルツェに所在

する国外派遣任務準備訓練センターで実施され、34名が参加した。派遣期間中の任務は、警備等の教育技能等を教育する訓練支援の予定である。

マクロン仏大統領候補によるポーランドに関する批判に対するポーランド政府反応【4月27日—5月2日】

27日付仏紙に掲載されたインタビューにおいて、マクロン仏大統領候補は、ポーランドがEU内の労働賃金の差を利用しEUの規則に違反していることは容認できない、自分が大統領になったらポーランドに対するEU制裁を支持する旨の発言を行うと共に、1日、首都のパリでの集会において、カチンスキPiS党首は、ハンガリーのオルバーン首相及びプーチン露大統領と共にル・ペン氏の同盟者である。ポーランド、ハンガリー及びロシアでは民主主義及び自由に対する違反が毎日発生している。それに対し、28日、ポーランド政府報道官は、非常に残念な発言であり、EU EU内で貿易保護主義が未だ存在し、市場に影響していることを浮き彫りにしている旨述べた。また、2日、外務省は、同盟国且つEU加盟国同士であるフランスの大統領候補が世間を誤解させるような容認の出来ない比較をしたことが残念であり、ポーランドにおいて自由な民主主義の価値及び原則は守られている旨の声明を発表した。

ヴァシチコフスキ外相、EU非公式外相会合出席【4月28日】

28日、ヴァシチコフスキ外相は、マルタにて、トルコでの国民投票、国際秩序の課題及びEU拡大を主題としたEU加盟国非公式外相会合に出席した。

大統領、ポーランド軍のラトビア、ルーマニア派遣を署名【4月28日】

28日、ドゥダ大統領は、2016年7月のNATO首脳会合で決定されたポーランド軍のラトビア及びルーマニア派遣を正式に署名した。文書の有効期間は5月1日から12月31日までとなる。ラトビアに派遣さ

れる部隊は、北東部の第15旅団に所属しPT-91戦車を装備する1個中隊の200名で、ルーマニアに派遣されるのは部隊は、北西部に所属しロソマック装輪装甲車を装備する1個中隊の250名である。

シドゥウォ首相、特別欧州理事会出席【4月29日】

29日、シドゥウォ首相は、ブリュッセルにて行われた英国のEU離脱を協議する特別欧州理事会に出席した。同理事会では、BREXITに関する交渉指針が全会一致で採択された。

英国空軍機、民間のSNSサイト上に飛行情報を反映される【5月1日】

1日、英国空軍偵察機RC-135の飛行情報が、民間のSNSサイト上に反映されていた事が判明した。同機は、先週前半、米空軍F-35戦闘機のエストニア展開に接続して、ポーランド北東部ヘル半島上空からロシア・バルト艦隊の所在するカーニングラード西方上空を飛行していたが、民間のSNSサイト・アプリケーション・エンスジウスツ上に同機の飛行情報が反映されていた。

ヴァシチコフスキ外相、オーストラリア訪問【5月1—3日】

1—3日、ヴァシチコフスキ外相はオーストラリアを訪問し、ビショップ・オーストラリア外相と会談を行い、二国間関係、シリア、ウクライナ及び朝鮮半島を含む地域安全保障等について意見交換した他、スミス下院議長等との会談、オーストラリア国立大学で講演を行った。

ポーランド艦船、ロシア海軍フリゲート艦マカロフに接近【5月3日】

3日、ロシア国防省は、ポーランド海軍艦船が、地对空ミサイル・シチル1の発射試験中のロシア海軍フリゲート艦マカロフに近接したとして、14キロ以上離隔する旨警告したと公表した。ポーランド側の発表は行われていない。

経 済

マクロ経済動向・統計

4月の物価上昇率【4月29日】

財務省速報によれば、4月の物価上昇率は対前年同月比2.0%、対前月比0.3%増となった。

オンラインバンキングの普及【4月30日】

財務省の調査によれば、インターネットを通じたオンラインバンキングの利用者は2013年の回答の58%から2016年は69%まで増加した。65歳以上では24%、初等教育を受けた者では45%と普及率が低いのに対し、18—34歳の年齢層では

88—89%がオンラインバンキングを利用している。また、地域別では大都市、中小都市の区別なく、約70%台の普及率となっている。

経済成長率予測【5月4日】

国際通貨基金(IMF)によれば、ポーランドの経済成長率は2019年には3%台を下回り、2022年には2.7%となる見込み。他方、財務省は、2017年～2022年の経済成長率は4%に近づくと分析している。IMF予測では2100年頃にポーランドの

一人当たり GDP はドイツの水準に追いつくとしており、財務省予測では40年早くそのレベルに達する

としている。

ポーランド産業動向

ポーランドは低賃金の博物館と見られたくはないーシドゥウォ首相インタビュー【4月28日】

シドゥウォ首相は Rzeczpospolita 紙のインタビューにおいて、ポーランドを「低賃金の博物館」と見られたくはないと述べ、イノベーション、競争力の強化や研究開発の拡大による経済成長を通じて変えていきたいと述べた。また、前政権下では生活費の上昇にも拘わらず、給与が上昇していないことや、家族企業やベンチャーへの支援が不十分であったと指摘し、これらの層に成長を還元したいと述べた。G20会議への初めての招待は歴史的な成功であり、今後正式なメンバーとなることを目指すとも述べた。また、中国や中東との協力促進や海外ビジネスの支援の強化と、海外市場の拡大の必要性を述べた。

ウッチ工科大学のグラフェン製造技術が米・EU での特許獲得【4月28日】

ウッチ工科大学で研究されていたグラフェン(炭素)の製造工程が米国と EU での特許を取得した。

同大学の Kula 教授の指揮の下、HSMGと呼ばれる多結晶型グラフェンの製法が研究されており、従来とは異なる製法で、2010年にノーベル賞を受賞したグラフェンと非常に近い組成のものが得られると述べている。ポーランドでは2011年に電気部材技術研究所(ITME)が発表した製法も米国で特許を得ているが、Kula 教授は、同製法が電気製品に適したものである一方、今回の製法は多用途のものが製造できると述べている。

英国・中国間の鉄道貨物路線が開通【4月29日】

英国からポーランドを経て中国東部の義烏市(Yiwu)に向かう貨物列車が開通した。両都市間を19日で結ぶ。英国を出発した便はウイスキー等の酒類、医薬品、乳幼児用製品等を搭載し、ポーランドの他に仏、ベルギー、独、ベラルーシ、ロシア及びカザフスタンを通過する。中国習近平主席の提唱する新シルクロード計画の一部であり、欧州との貿易関係の強化を目指すものとされている。

エネルギー・環境

電気自動車推進法の素案【4月27日】

エネルギー省は、電気自動車推進新法の素案で、電気自動車に対して、付加価値税の免除、駐車場使用料の無料化、バス車線の利用などの特典と、2025年までに政府の使用車両の半分以上を電気自動車にすることを提案している。エネルギー省は、法律の1月の成立を目指している。

EUにおける有害物質排出強化に反対【4月28日】

28日、欧州委員会は産業施設からの有害物質の排出規制基準改正案を採択した。ポーランド他

数力国が反対票を投じた。環境省は、新規制により100億ズロチ規模のコスト増につながるとしている。同規制では石炭火力を含む産業施設における窒素酸化物、硫黄酸化物、粒子状物質の排出基準をより厳しいものとしている。サウエク環境副大臣兼気候変動政策政府特命全権は、こうした規制強化については受け入れられないと述べている。ポーランド政府は特に窒素酸化物への規制強化に反対をしており、独やチェコ等がポーランドと同様の立場を取っていた。

大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に

存在する各国の大使館等にお問い合わせするなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=173>

パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584- 73 00 , E メール：info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

文化行事・大使館関連行事

【開催中】「江戸への旅」浮世絵展【2月25日(土)～5月7日(日)】

ワルシャワ国立博物館にて、イェジ・レスコヴィッチ氏所蔵コレクションによる浮世絵展が開催中です。

開催場所：ワルシャワ国立博物館, Aleje Jerozolimskie 3

詳細：<http://www.mnw.art.pl/>

【開催中】ポフシン植物園における日本月間【4月6日(木)～5月7日(金)】

ワルシャワにて、ポーランド科学アカデミー植物園・ポフシン生物多様性保全センター主催による「ポフシン植物園における日本月間」が開催中です。入場料：10PLN。

プログラム：

4月1日～5月7日：スタニスワフ・ロシュコフスキ氏による写真展「桜と日本」

5月6日～7日：観賞用日本鶏の展示会

開催場所：ワルシャワ市（マゾフシェ県）、ポーランド科学アカデミー植物園・ポフシン生物多様性保全センター、ul. Prawdziwka 2

詳細：<http://www.ogrod-powsin.pl/dzialalnosc-kulturalna/plan-wystaw-i-wydarzen-kulturalnych-2017>

【開催中】全ポーランド美術コンクール展【4月20日(木)～5月10日(水)】

ティヒ市にて、ティヒ市第2青少年文化会館主催による全ポーランド美術コンクール展「マンガファクトリー」が開催中です。

開催場所：シロンスク県、ティヒ市, ul. Elfów 56

詳細：<http://www.mdk2tychy.pl/>

【開催中】金継ぎ展【4月24日(月)～5月8日(月)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、金継ぎで修復された器の展示が開催中です。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 -584 -73 00, E メール：

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

【予定】日本フェスティバル 花見2017【5月7日(日) 10時～17時】

ワルシャワ市にて、「ラクガク」日本語学校主催による『日本フェスティバル 花見2017』が開催されます。お花見のほか、武道デモンストレーション、伝統音楽、日本舞踊、様々なワークショップ、コンクール等が予定されています。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, 「イスクラ」スポーツクラブ公園, ul. Wawelska 5

詳細: <http://www.rakugaku.pl/hanami2017.html>

【予定】日本の伝統音楽箏曲【5月10日(水) 17:30時】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、邦楽グループ「奏悟空」による箏曲の実演・講義が予定されています。(日本語, ポーランド語逐次通訳)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 -584 -73 00, E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】日本の子供の日【5月21日(日)】

ワルシャワ市にて、ちびワル主催による『日本の子供の日』が開催されます。日本で祝う子供の日の紹介及び子供向けのワークショップが予定されています。

開催場所: ワルシャワ市, Atelier Powiśle, Wybrzeże Kościuszkowskie 45

詳細: <https://www.facebook.com/fundacijachibiwaru/>

【予定】国際オープン極真空手選手権 レスコ市長カップ【5月27日(土)】

レスコ市にて、レスコ市極真空手文化センター主催による『国際オープン極真空手選手権 レスコ市長カップ』が開催されます。

開催場所: 西ポモージェ県, レスコ市, ul. Wojska Polskiego 16

詳細: <https://www.facebook.com/events/734605460054365/>

【予定】第5回日本祭り「Matsuri - Piknik z Kulturą Japońską」【6月3日(土) 11時30分~19時】

ポーランド商工会, 日本人会, 日本大使館主催による第5回「日本祭り」がワルシャワのスウジェフ文化センターで開催されます。和太鼓, 舞踊, 伝統音楽からポップまで様々なステージ演目, 武道, 着付け, 書道, マンガ, 生け花, けん玉等のワークショップ・展示など日本をまるごと体験できます。その他に, 観光情報コーナーや企業展示, 日本食の販売なども予定されています。入場無料。

開催場所: ワルシャワ, Służewski Dom Kultury, ul. Jana Sebastiana Bacha 15

詳細:

フェイスブック <https://www.facebook.com/MatsuriPiknikJaponski>

ウェブサイト <http://www.pl.emb-japan.go.jp/matsuri.html>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)(ご連絡は電子メールでお願いします。)